

千葉県納税貯蓄組合総連合会 会長賞

税金と私たちの生活

柏市立柏第二中学校 第三学年 高橋 梨花

今年の春、私は人生で初めて救急車に乗る経験をしました。チアリーダーの練習中に頭を打つ怪我をしてしまい、病院に救急搬送されることになったのです。私一人のために四人の救急隊員が救護に来てくれて、応急処置の後、病院へと運ばれました。初めての救急車の内部はたくさんさんの設備が整っていてまるで病院のようでした。

税について調べていくうちに、実はこの救急車と税とはとても深い関わりがある事を知りました。救急車は行政のサービスの一つであって、設備代・ガソリン代・メンテナンス代、救急隊員の人件費はすべて税金が使われているという事です。つまり、救急車は無料なのではなく出勤の費用に税金が使われているのです。一回の出勤には四万五千円もの費用がかかるそうです。

また、日本のように救急車が無料で呼べる国は少ないことも知りました。アメリカやフランス、中国などほとんどの国では有料です。距離によって加算される仕組みだそうです。無料なのはイギリスのロンドン、イタリアのローマ、香港などですが、全国無料なのは日本と香港だけのようです。さらに日本では外国からの旅行者でも無料で利用することができません。

有料の場合、緊急の時、命の危険が迫っている時に、救急車を呼ぶことで高額なお金がかかってしまうからとためらってしまうかもしれません。無料だからこそすぐにSOSを出せる日本の環境はすごいことだと思います。税金が私たちの命を守っていることになりす。

誰もが平等に受けることのできるこのサービスが税金をもとに成り立っていると考えると、税金のありがたみに気がつきます。買い物のかかり目がかかってしまう消費税だったり、税金は払わなければならないと思うと負担にばかり目がいてしまいます。中学生の私たちからも税金をとるのはどうしてかと疑問でした。けれども、救急車の他にも安全を守るためのパトカーや消防車、学校の設備や支給される教科書、これはほんの一部で、まだまだたくさんさんの身近なことに税金は使われています。使い道を調べることで、税金が私たちの快適で豊かな生活を支えていく上で欠かせないものだを知ることができました。

今は、きちんと納税をすることで社会を支えていける大人になっていきたいと思っています。